

# 事故予防 赤ちゃんを事故にあわせないために！

赤ちゃんの事故は、大人の気配りで防げるものです！

赤ちゃんの発達や動きをよく観察し、事故をおこさない心がけをしましょう。

1 敷布団はかための物をつかきましょう。

2 ベッド柵とマットレスの間にすき間がないようにしましょう。

3 寝ている赤ちゃんの上に、物が落ちてこないようにしましょう。

テーブル上の物が倒れてくる、お兄ちゃんお姉ちゃんが遊んでいるおもちゃが飛んでくる、ネコや犬がのってくる・・・寝ている赤ちゃんには危険がいっぱいです！

4 暖房の熱が直接ふれないように寝かせましょう。

5 赤ちゃんの周りに、タバコや小物がないようにしましょう。

赤ちゃんは手に持った物は何でも口に入れてしまいます。部屋の整理整頓を常に心がけましょう！

6 ドアを閉めるときに赤ちゃんの手の位置を確認しましょう。

7 抱っこしている時 階段や足元に注意しましょう。

慣れた家内こそ、油断して滑ったり転倒し、赤ちゃんを体で押しつぶしてしまったりテーブルや家具にぶつけてしまう危険大です！

8 かごに寝かせて持ち上げる時には、両方の取っ手をしっかり持ちましょう。

9 短時間でも、車や家に一人置いて出掛けないようにしましょう。

夏の車内は 40～50 度まで上昇します。火災や地震などの災害からも赤ちゃんは自分自身で身の安全を守ることができないのです！

10 ソファーの上に赤ちゃんを一人で寝かせないようにしましょう。

赤ちゃんからちょっと目を離したすきに、転落事故は起こっています。ソファーなど高いところに赤ちゃんを寝かせたままにしないようにしましょう。



・・・もしも事故がおこってしまった時、あわててパニックにならないように簡単な応急手当やかかりつけ医・緊急連絡先を確認し、電話のそばにはっておきましょう！

事故が起こってしまった時あわてないためにも、かかりつけの病院や緊急時の連絡先を電話のそばに貼っておきましょう。